

十六、簡易案件

臺灣各地方法院配合民刑事訴訟法修訂，爰將民刑事案件訴訟標的金額或價額較低及案情較為單純者，在通常訴訟程序外，另依各該簡捷之訴訟規定，迅速終結，以減輕當事人之訟累。

為應社會之需要，88 年 2 月民事訴訟法修正簡易訴訟程序，將財產權之訴訟範圍由新臺幣 30 萬元提高為 50 萬元，並增訂小額訴訟程序，從原適用簡易訴訟程序之事件中再劃出訴訟標的金額或價額 10 萬元以下之訴訟，以貫徹簡速、經濟之訴訟效益，102 年民事第一審簡易訴訟程序終結件數計 46,523 件，占各法院民事第一審終結件數 34.04%，較 101 年減少 0.62 個百分點，而民事第一審小額訴訟程序終結件數占各法院民事第一審終結件數之比率為 26.38%，較 101 年增加 2.68 個百分點。

刑事簡易案件則因 90 年修正刑法第 41 條擴大易科範圍，將原本得易科罰金之標準由最重本刑 3 年以下放寬為 5 年，98 年修正刑事訴訟法第 449 條將得易服社會勞動之有期徒刑亦納入簡易程序之範圍，刑事第一審簡易判決終結件數占各法院刑事第一審終結件數之比率，近 10 年皆超過五成，102 年刑事第一審簡易判決終結件數計 98,155 件，占各法院刑事第一審終結件數 59.72%，較 101 年增加 1.37 個百分點。

表 2.14 臺灣各地方法院辦結民刑事簡易第一審件數占第一審終結件數百分比

單位：件；%								
年別	民 事 第 一 審			刑 事 第 一 審				
	終結件數 (1)	簡易訴訟 程序終結 件數 (2)	百 分 比 (2)/(1)	小額訴訟 程序終結 件數 (3)	百 分 比 (3)/(1)	終結件數 (4)	簡易判決 終結件數 (5)	百 分 比 (5)/(4)
93 年	187 500	69 979	37.32	49 076	26.17	112 350	63 344	56.38
94 年	207 079	91 447	44.16	49 675	23.99	123 653	67 578	54.65
95 年	277 107	124 208	44.82	78 391	28.29	145 051	79 958	55.12
96 年	294 860	132 014	44.77	93 023	31.55	171 071	94 805	55.42
97 年	230 104	96 528	41.95	66 630	28.96	186 863	101 430	54.28
98 年	183 106	76 054	41.54	45 266	24.72	176 168	101 703	57.73
99 年	149 055	51 502	34.55	39 646	26.60	170 564	100 178	58.73
100 年	131 774	41 601	31.57	32 081	24.35	167 386	96 603	57.71
101 年	135 223	46 863	34.66	32 054	23.70	162 714	94 946	58.35
102 年	136 661	46 523	34.04	36 053	26.38	164 351	98 155	59.72
102 年較上 年 增 減 (%)	1.06	-0.73	-0.62 (百分點)	12.48	2.68 (百分點)	1.01	3.38	1.37 (百分點)